

○委員長（井上宜久）

次に移ります。認定第3号 決算認定について（下水道事業特別会計）の質疑を行います。質疑は歳入歳出全般を行います。

では、質疑をどうぞ。

高橋委員。

○2番（高橋久志）

2番、高橋です。

総括的な関係を含めて、質問させていただきたいと思います。

340並びに341ページの下水道事業の概要等に関する件でございます。歳入については前年対比13.9%、説明では、平成23年度は南部地区区画整理事業の関係があつて、これが終了したと。この関係で言われておりますけれども、そのような形なのかどうか、確認をさせていただきたいと思っております。

通常的には、下水道事業を着実に推進していくと、増やしていかなければいけない課題があると思うのですが、平成24年度は整備面積、これ341ページの上のほうの中ほどで書かれておりますけれども、8.3ヘクタールということです。24年度末については231.9ヘクタールということです。下水道の計画面積は285.7ヘクタールというふうに私は把握しているのですが、計画にあわせて徐々に進んでいるのかなと。しかし、進み具合が少し少ないのかなと感じておりますけれども、24年度の決算に当たりまして、どのような所見を持っておられるのか、お聞かせ願いたいと思っております。

なお、当初予算並びに説明資料からちょっと読み切れない点で質問させていただきますけれども、加入世帯数は整備をしているわけですから増えていくというふうに思っておりますけれども、実態はどのようになっているのでしょうか。お願いいたします。

○委員長（井上宜久）

上下水道課長。

○上下水道課長（石塚和己）

下水道事業の総括的なご質問ということで、私のほうからお答えをさせていただきます。

まず、歳入の件の前年度13.9%の減ということでございますけれども、この大きな要因といたしましては、23年度は1億円の事業の繰り越しがございました。国庫補助金をいただきまして、1億円、繰り越しをしたものでございます。そのようなことから、国庫補助金が前年に比べて24年度は大幅に低くなっております。通常の例年の事業量に戻ったというふうにご理解いただければと思います。

24年度末でございますけれども、24年度も南部地区の区画整理事業にあわせまして、区画整理区域内を中心といたしまして事業を行ってまいりました。おかげさまで、平成24年度末で南部地区区域内の下水道の整備率につきましては95.1%という整備率になっております。25年度、今年度で南部地区につ

きましてはほとんど終える状況になって、ほとんど終わるのではないかなというふうに思っております。

それと、先ほど委員が申されました認可の285.7ヘクタールということで認識されているということでしたけれども、25年の3月に認可区域の拡大を行いました。委員おっしゃるとおり、従前は285.7ヘクタールでございましたけれども、現在は15.7ヘクタールを増やしまして、全体で301.4ヘクタールの事業認可を行って事業を進めております。今後は、南部地区の区画整理区域内の整備というものも一段落いたしますので、それ以外の地区の整備に向けて、第五次総合計画にのっとったような形で事業を進めてまいりたいと思っております。

加入の世帯数ですけれども、平成24年3月31日末で前年より118世帯増えまして3,968世帯、未接続世帯が324世帯ということで、接続可能世帯が4,292世帯となっております。

以上でございます。

○委員長（井上宜久）

高橋委員。

○2番（高橋久志）

2番、高橋です。

町民の方から、開成町の下水道普及率はどのぐらいなのかと。ほかの自治体では、100%に近い形で下水道が整備されております。先ほどもお話ししましたがけれども、通年どおりの3ヘクタールから4ヘクタール、これは順調に工事が進められているということで理解しているわけですがけれども、もう少し工事関係を増やしたほうがいいのかと、普及率の関係でいえば、そう感じているところでございます。

さて、下水道の普及率の関係ですけれども、平成23年度、下水道普及率は64.2%という形で受けとめておりますが、8.3ヘクタールですけれども、これらの状況を踏まえて、これは少しずつですけれども普及率は上昇しているのか、数値的に示していただきたいと思います。

○委員長（井上宜久）

上下水道課長。

○上下水道課長（石塚和己）

高橋委員のご質問にお答えいたします。

下水道の今、普及率でございますけれども、うちのほうで把握している数字でございますけれども、普及率につきましては63.1%でございます。委員の言われた数字との誤差というのは、恐らく、南部地区がまだ供用開始されていないために、そちらの部分は入っていないということで、普及率自体は63.1%ということでございます。

先ほど申しましたように、平成24年度もそうでしたけれども、23年度、24年度は南部地区区画整理区域内の事業進捗にあわせまして、そちらを中心的に整備を行ってまいりました。したがって、従前の市街化区域にお住まいの方の地区

の下水道の整備というものが非常に少なくなっておりまして、普及率自体は少し低迷をしているような状況でございます。今後は、南部地区のほうの見通しも大方つきましたので、市街化区域の中、まだ未実施のところを重点的に行っていくって、普及率の向上に向けて努力してまいりたいと思っております。

以上でございます。

○委員長（井上宜久）

高橋委員。

○２番（高橋久志）

先ほど歳入のときに前年対比１３．９％減、これは下水道絡みかなというお話をしたのですが、答弁をいただいた中で１億円の繰り越し、これらがあつたと。２４年度については、南部地区の区画整理事業、課長の報告どおり事業が進められていると。それにしても、ちょっと率合目的には、南部地区の区画整理事業の下水道をやっているわけですから、前年比減が多過ぎるのかなと実は感じておりますけれども、それでよろしいでしょうか。

○委員長（井上宜久）

上下水道課長。

少しお待ちください。

○上下水道課長（石塚和己）

大変申しわけございませんでした。

まず、公共下水道事業費の事業費全体でございますけれども、前年の支出額というのが２億７，２５９万１，２１１円ということで、今年度、２４年度につきましては１億５，９４３万１，４４９円という決算になっております。こちらで前年度と比べますと約５８．５％という、前年度比に比べると５８．５％というような形になってきますので、下水道事業で一番ウエートを占めているというのが事業費になろうかと思うのですが、こちらのほうの事業費が大分、減ということになっておりますので、歳入歳出ともに前年度と比べると減というような形になっております。

以上です。

○委員長（井上宜久）

ほかに、どなたか、ございますか。

（「なし」という者多数）

○委員長（井上宜久）

ないようですので、以上で認定第３号 決算認定について（下水道事業特別会計）の質疑を終了します。

暫時休憩いたします。再開を１０時２５分にいたします。

午前１０時１３分